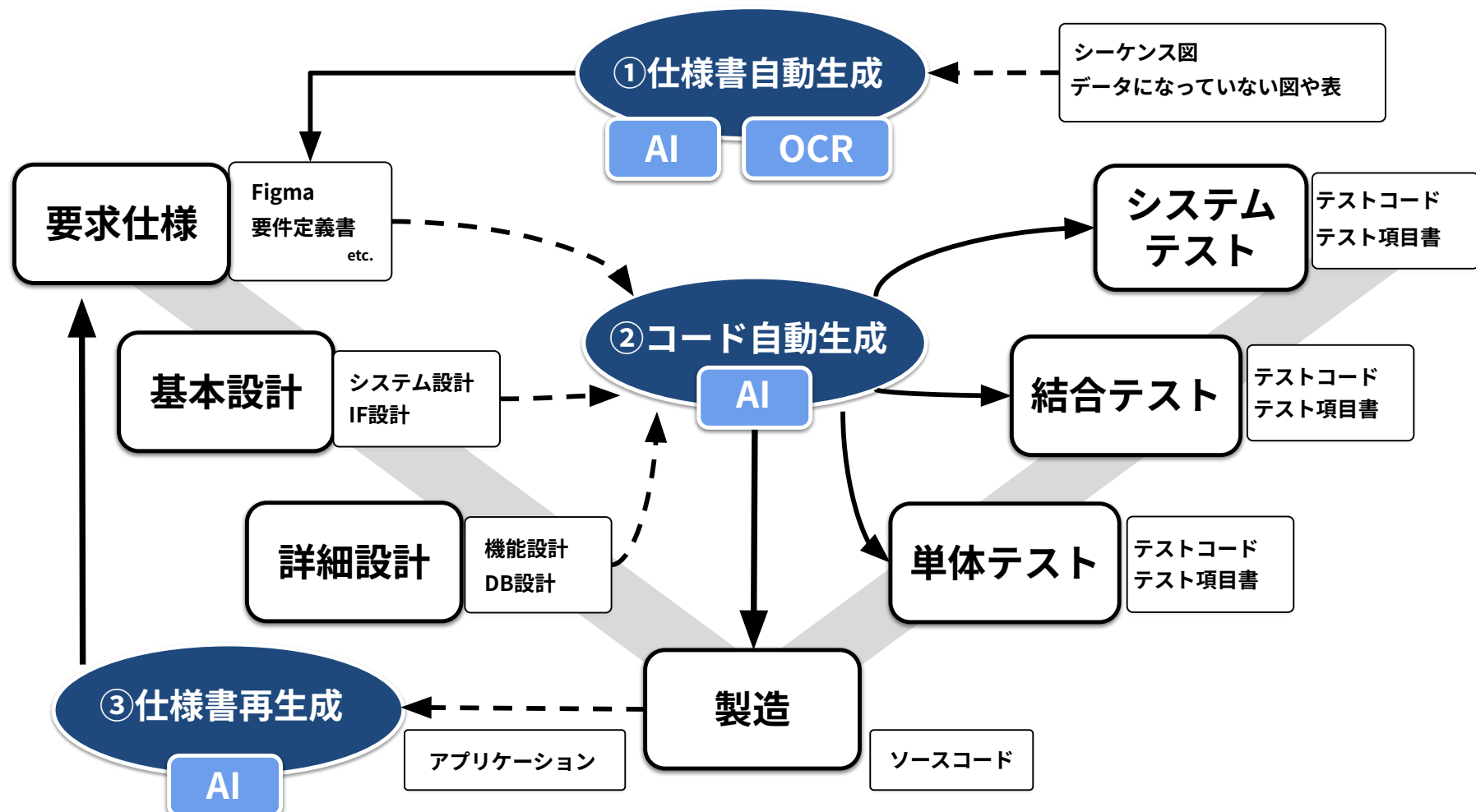


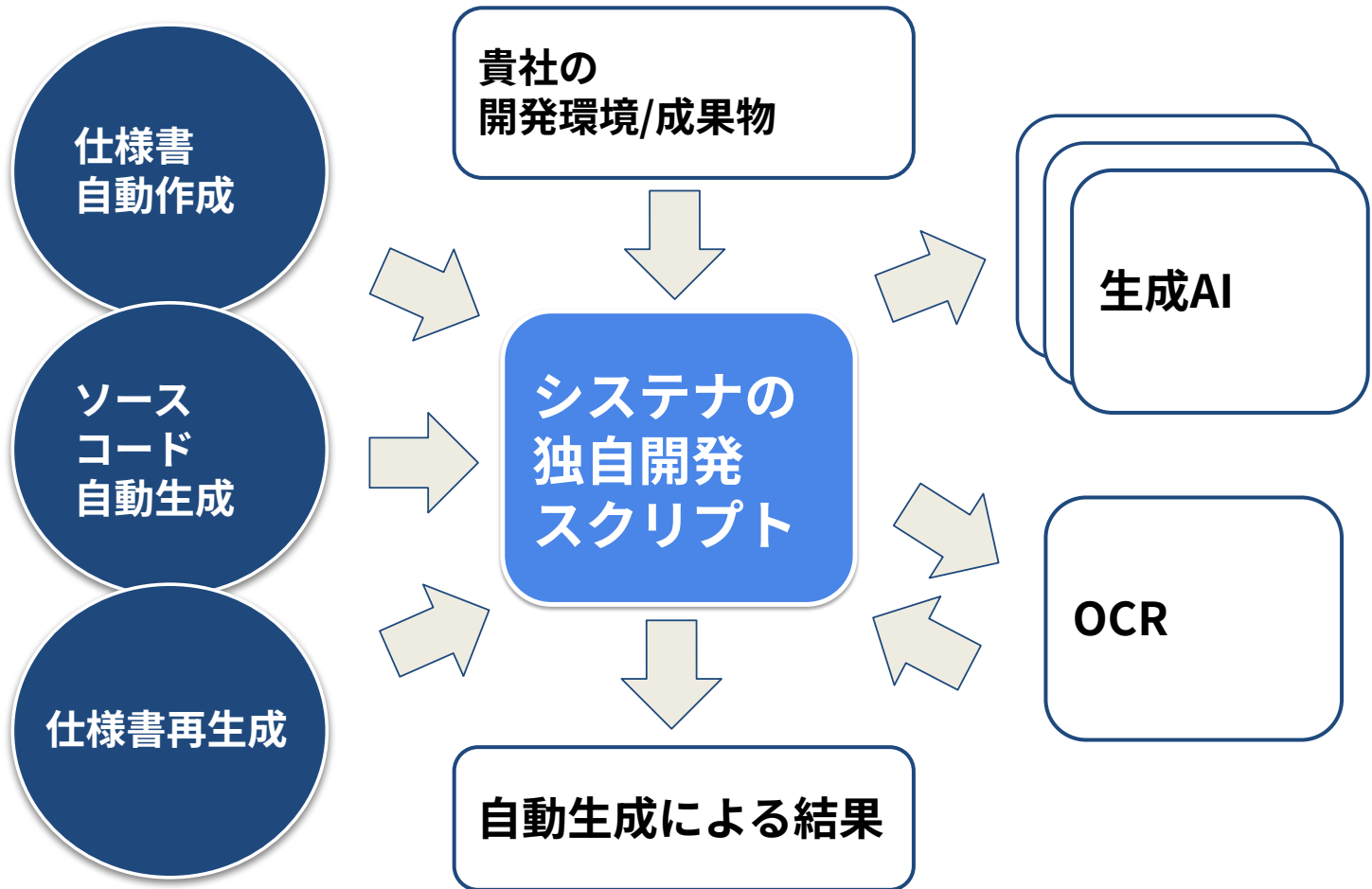
システナのモビリティ事業における AIを活用したSDV開発への取り組み

株式会社システナ
次世代モビリティ事業本部

システムが開発した独自スクリプトでSDV開発を自動化いたします。



システムが開発した独自スクリプトでSDV開発を自動化いたします。



AI・自動化の課題と将来像

私たちは数多くの現場でお客様の声に耳を傾けてきました。業界を問わず散在する「無数の課題」の先にある「目指したい姿」は共通しています。私たちは、お客様が描くその理想の未来を実現いたします。

⚠ Before / 課題

- データが一元管理できていない
- SWE工程、開発工程を効率化したい
- SYS工程における資料作成などをAI活用したい
- 社内報告用や社内業務向けの資料作成を効率化
- ナレッジが溜まらない
- 実装・テストを自動化したい
- 作成物と要件の整合性チェックの自動化

🚀 After / 未来

効率化で出した時間を
次世代開発へ

個人の経験に依存しない、
組織ナレッジの確立

工数XX%削減
リードタイムXX%短縮

AI・自動化を実現するまでの道のり



データ未統合、
ナレッジ不足、
資料作成の過負荷



AIを「どのように使いたい
か」の定義・
方針決定



必要なツールやシステム、
データの整備・実装



現場のフローに合わせた
最適化と定着



付帯作業を最小化し、
本来の設計・開発へ集中

各フェーズで直面する「具体的な課題」の解像度

STEP1 方針・期待値の壁

- ❓ どう効率化して何のメリットがあるのか
- ❓ 生成AIの揺らぎについての対応
- ❓ 事務作業に活用できていない
- ❓ 現在のプロセスを大きく変えていないか
- ❓ 事例はあるか
- ❓ 社内の事務作業に活用できていない

STEP2 環境・セキュリティの壁

- ❓ 環境構築
- ❓ セキュリティは問題ないか
- ❓ プロンプトの仕組はどうなっているのか
- ❓ インプットしたデータが学習されないか
- ❓ 使ってみてどう立ち上げられるのか
- ❓ 現在のプロセスを大きく変えていないか
- ❓ 金額は？その後の運用コストは？

STEP3 現場適応・運用の壁

- ❓ AIを導入したときにお客様のツールと連携できるかどうか
- ❓ 年配者が多い現場だと文字の大きさやタップ以外の操作性など使う年齢層なども現場によって違うので検討が必要

貴社は今、どのフェーズでお困りですか？

STEP 1を検討中の方へ

「どんな活用ができるか」
方針を定めたい

成功事例を知りたい、
生成AIで何ができるか模索している段階。

SYSTEMA'S VALUE

- 💡 豊富な導入実績をもとに、業務深掘りから活用ロードマップを「一緒に」策定します。

STEP 2を検討中の方へ

「導入の壁」を突破し
環境を構築したい

セキュリティ規定、社内インフラ連携、
情シス部門との調整など、実装前のハードル。

SYSTEMA'S VALUE

- 🗨️ 他社事例に基づく「交通整理」のプロとして、情シス部門との間に立ち、スムーズな導入を完遂します。

STEP 3を検討中の方へ

「実務のフロー」に合わせて
定着・高度化させたい

現場の使い勝手が悪い、スキルの属人化、
本来の主業務に繋がっていない悩み。

SYSTEMA'S VALUE

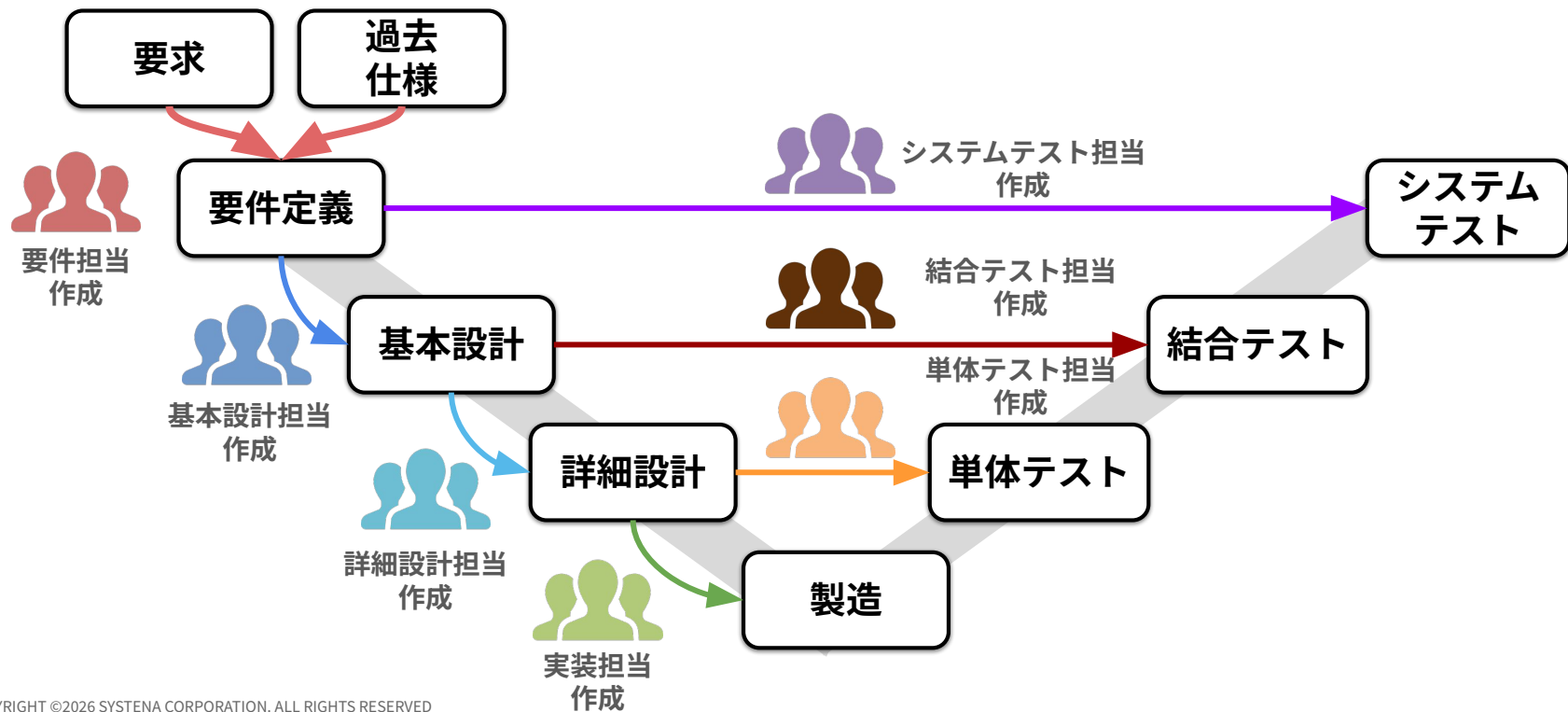
- 👥 貴社のチームに「深く参画」し、実務を知り抜いた上で、フィットする適合方法を提案・実装します。

🗨️ まずは今の状況をお聞かせください。解決への一步を共に考えます。

システナ独自開発スクリプトを活用した、 MAGシステムの特長とご紹介

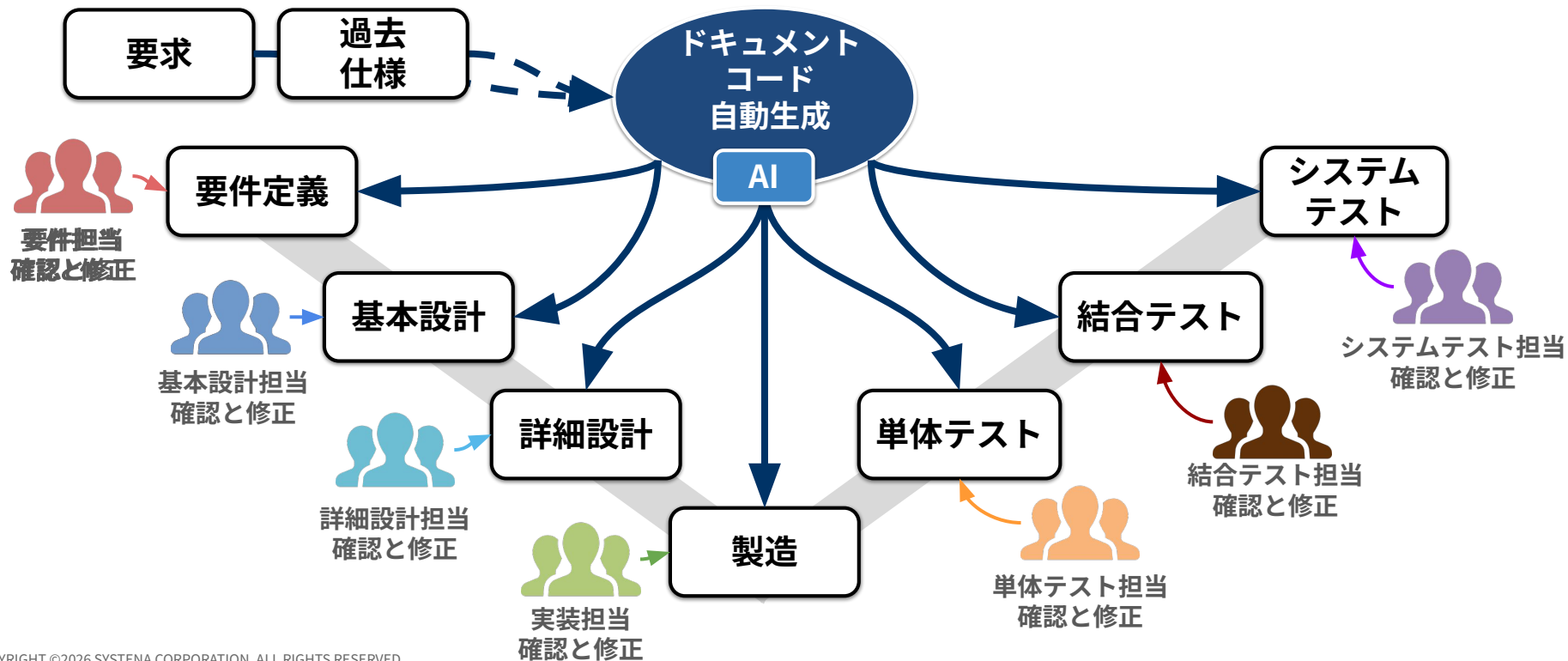
大規模開発におけるドキュメント・コード作成の課題

大規模開発のドキュメント作成は非常に多くの要員が必要となり、その工数は莫大です。また複数名で作成するため、記載の粒度が作成者依存でドキュメントの品質にばらつきがあり、不具合の混入の懸念があります。



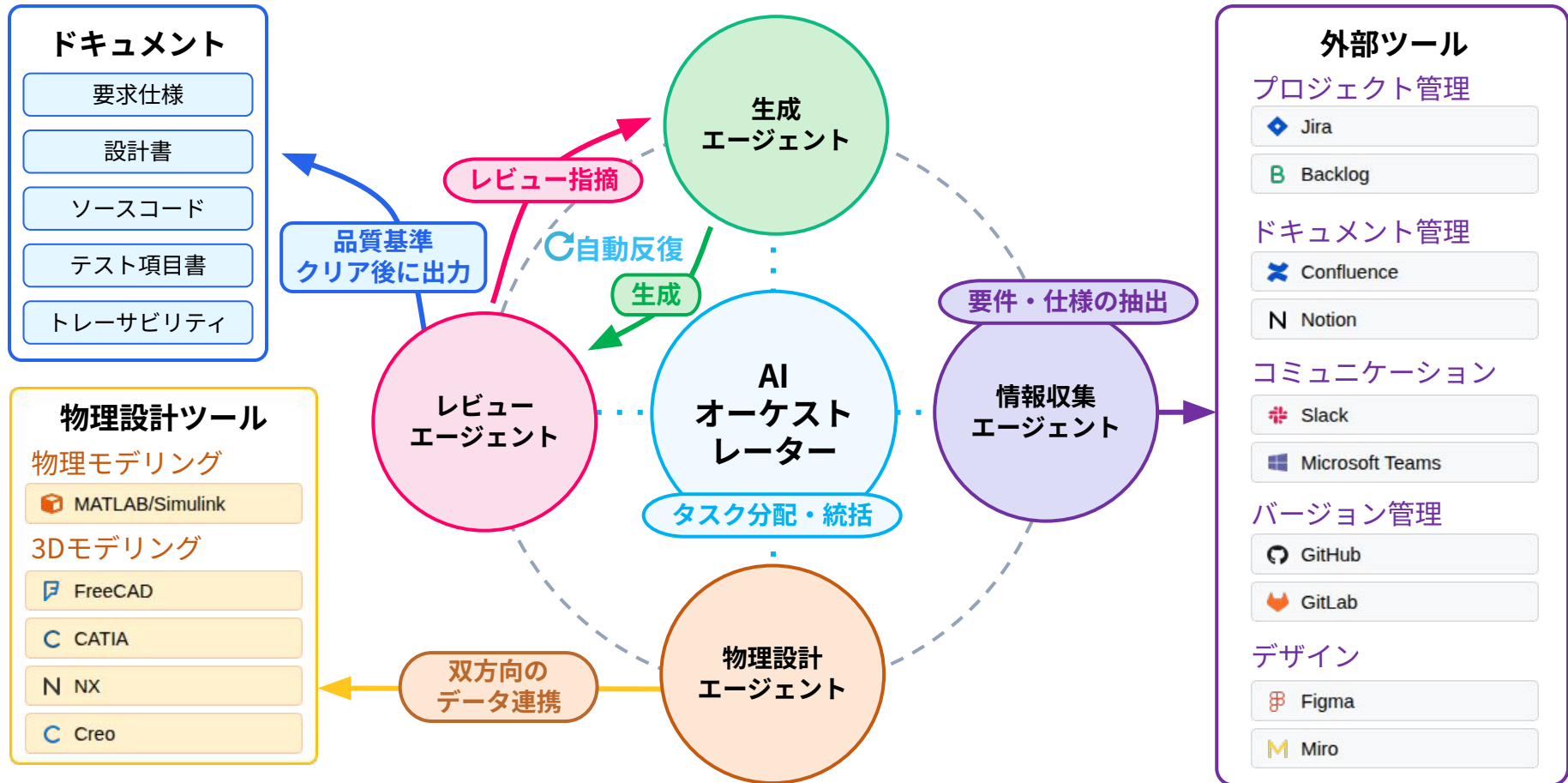
全工程ドキュメント・コードの自動生成

全工程のドキュメント・コードをAIにより自動生成することで、作成作業を大幅に削減し、コストと工期を圧縮します。また標準化されたドキュメント・コードを作ることで、品質が向上します。



AIオーケストレーション

複数のAIが自動で役割分担し、人間のかわりに考え・作り・確認まで完結させます



エージェントの特徴とメリット



自律的コンテキスト理解

情報収集エージェントが連携先ツールを自律的に探索して理解することで、プロジェクトの仕様書やこれまでの経緯を読み解いて理解します。

GitHub/GitLabのソースコードから設計書を逆生成することも可能です。



マルチエージェント

収集した情報をもとに生成エージェントが作成、レビューエージェントが内容をチェックします。指摘と修正を繰り返し、品質基準をクリアした成果物を出力することで、AI特有の見落としや嘘(ハルシネーション)を排除します。



物理設計ツール双方連携

生成された設計書をもとに物理設計エージェントはMATLAB/Simulinkや3D CADツールへモデルを出力します。既存のモデルと連携させれば、モデル内の情報から設計書を作成・更新することも行います。

MAG 連携ツール一覧

NEW

物理モデリング



MATLAB/Simulink



FreeCAD



CATIA



NX

プロジェクト管理



Jira



Backlog



Redmine



Linear

ドキュメント管理



Confluence



Notion



Google Drive



DocBase

バージョン管理



GitHub



GitLab



Bitbucket

コミュニケーション



Slack



Microsoft Teams



Google Chat



Chatwork

デザイン



Figma



Zeplin



Miro

一貫通貫のトレーサビリティ機能

「どこを直すと、どこに響くか」を特定

要件定義から基本設計、テスト仕様書まで、プロジェクトの成果物をAIが自動で強固に紐付けま

要件IDの自動付与：

ドキュメント内の要件に対して、AIが自動でユニークな追跡IDを発行。

要件リンクの自動推論：

工程をまたぐ要件リンク（派生・充足・検証）をAIが解析し、トレーサビリティマトリクスを生成。

影響分析：

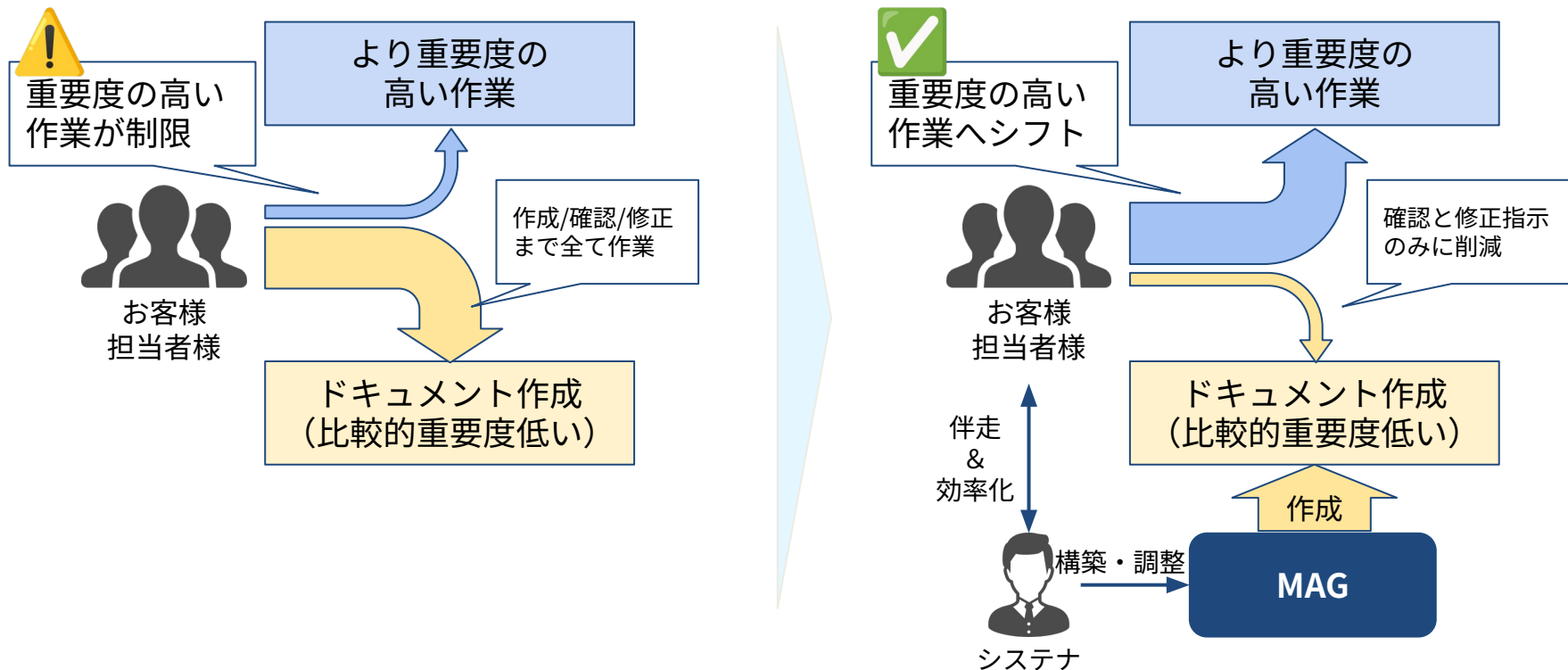
一箇所の仕様変更が、どの設計書やソースコード、単体テストコードに影響するかを特定。

トレーサビリティマトリクス

システム要件定義！/基本設計	BD-006 視・ロギング... *M、クライアント...	BD-007 機能モジュール... UI層、ドメイン層...	BD-008 各モジュールの... ドメイン層および...	BD-009 モジュール間の... 各モジュール間の...	BD-010 主要ユーザー... 目的地検索からル...
SYS-001 現在地表示と地図描画 現在地表示と地図描画 (機...		充足	充足		
SYS-002 POI表示 POI表示 (機能, REQ-MAP-02)		充足	充足		
SYS-003 目的地検索と履歴表示 目的地検索と履歴表示 (機...		充足	充足		充足
SYS-004 ルート計算と結果表示 ルート計算と結果表示 (機...		充足	充足		充足
SYS-005 走行案内 走行案内 (ターンバイター...		充足	充足		充足
SYS-006 ホーム画面・ウィジェッ... ホーム画面・ウィジェット...		充足	充足		

MAG活用でより重要度の高い作業へのシフトをご支援

システナメンバーが担当者様の作業と伴走しつつ、システムの調整と最適化を行い、ドキュメント作成にかかっていた作業量を減らします。これにより担当者様がより重要度の高い作業を行えるよう、共に作業の効率化に向けて取り組んでまいります。



AIインテグレーションを活用したプロセス改善

業務プロセスにおける課題について

従来の業務プロセス



起票

受付

内容確認

人力振分

担当者対応

ステータス
更新

完了

生じる課題

たらいまわしにされる
振分の滞り



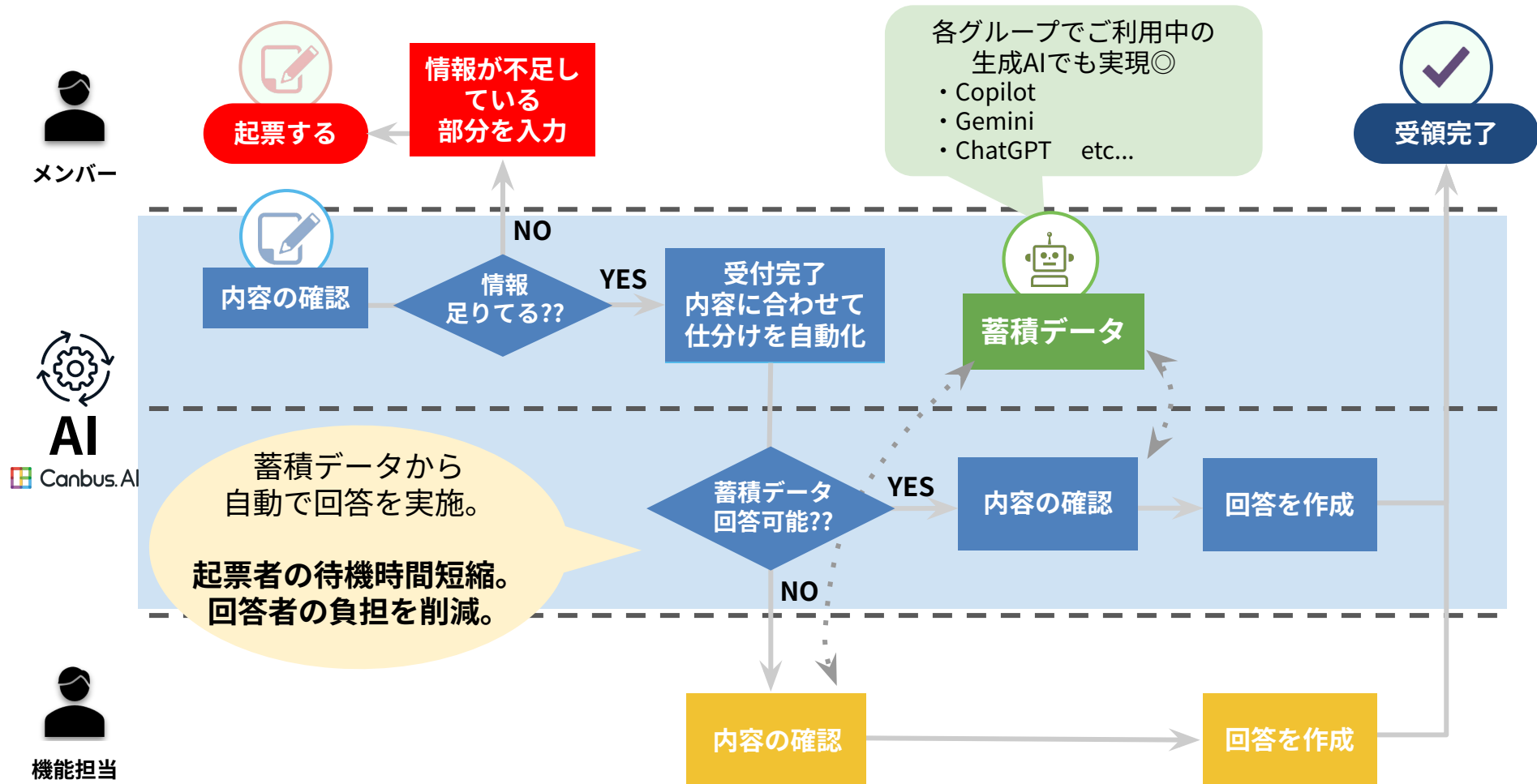
人を多く介在している
→時間がかかる



ナレッジが溜まらない
→活用できない



AIを活用した自動化の仕組み



An aerial photograph of a winding road through a forest. The trees are in various stages of autumn, with some showing bright yellow and orange, while others are bare or dark green. A small blue car is driving on the road, positioned in the lower-middle part of the frame. The overall scene is captured from a high angle, looking down at the road and the surrounding woods.

SDVにつながる
技術と実績。

システナは
ソフトウェアの
Tier1サプライヤです。

ぜひお気軽にお問い合わせください。

株式会社システナ 次世代モビリティ事業本部

E-mail : mobility-ml@systema.co.jp TEL : 03-6367-3850

東京本社

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング14F

東海事業所

〒473-0901 愛知県豊田市御幸本町1丁目

名古屋事業所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅5 -2 -17 プロGRESS名駅5F

北関東事業所

〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷2丁目4番3号

大阪支社

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー 18F・21F